

図書館ガチャ

2024年7月
経営学部経営学科2年
合田汐那

1. 目的・背景

図書館ガチャ企画は、読んだことのない本と出会う機会をつくり、学生の図書館利用のきっかけにしてもらいたいと考え、実施しました。メンバーが作製した2台のガチャ機には「C3メンバーのお気に入りの一冊」「オススメのミステリー」をテーマに本を選んでおり、参加者は、どちらかのガチャ機を選んで、カプセルを取り出します。ガチャ機に入れる本はC3メンバーへのアンケートによって募集しました。また、前回の図書館ガチャの振り返りより、開催期間は図書館ガイダンスを行っている期間に合わせ、ガチャ機から出るカプセルには請求記号を記載して自分で探しに行く形式に変更しています。これはOPACとその使い方はガイダンスで説明があるが、一度も使ったことがないという声を度々耳にしたためです。図書館ガチャ企画は、図書館のさらなる利用推進を目的としています。

2. 実施日時、場所、対象者について

活動日時または実施日時…6月14日(12:30)～6月26日(12:00)

場所…図書館ベストセラーコーナー前

対象者…学内者

3. 活動内容

準備冊数…30冊 (C3メンバーのお気に入り15冊、ミステリー15冊)

C3参加者…15名

ガチャ機の新調、ポスターや利用方法の掲示、選書リスト等は、1週間を目途に分担して作成しました。



4. 成果 (または結果)

利用回数…21回 (C3メンバーのお気に入り14冊 ミステリー7冊)

前回開催時に人気だった「オススメのミステリー」を今年も用意しましたが、今回は新たに設けた「C3メンバーのお気に入りの1冊」の企画が「オススメのミステリー」よりも貸出冊数を上回る結果となりました。ジャンルを特定しないからこそ多くの人にとって利用しやすかったのではないだろうかと推測しています。ただ、残念なのは、実際に本を借りるまでの手順が増えてしまい、昨年よりも貸出冊数が減ってしまいました。次回はこの反省を活かしてより良い企画になるよう改善したいです。

5. 所感

今回は2年次生が中心となり、初めての企画参加である1年次生のサポートで行いました。例年のようにジャンルで縛ると、参加者の幅が狭まってしまうのではないかと、選書リストを見た時点で既に読んだ本が多いと、参加を止めてしまうのではないかとという前回の反省や懸念の改善策として、「C3メンバーのお気に入りの1冊」を用意したのですが、結果を出すことができ良かったです。